

日本学術会議総合工学委員会原子力事故対応分科会主催

公開シンポジウム

福島第一原子力発電所事故プロセスの学術的検討

2014年5/14(水)13:30~17:10

日本学術会議講堂

福島第一原子力発電所1号機における非常用復水器(IC)の作動の妥当性、地震発生後の配管破損事故に伴う冷却材喪失事故(LOCA)の有無と事故進展への影響、非常用発電機の停止原因の3項目を中心としての検討結果の報告およびパネルディスカッション。本シンポジウムを通じて、この検討結果が今後の原子力利用の判断及び安全性向上に役立てられることを期待する。

■ **主催者代表挨拶:** 矢川 元基(原子力事故対応分科会委員長)

■ **講演** 座長 竹田 敏一(福井大学附属国際原子力工学研究所・特任教授)

13:40~13:55: 福島第一原子力発電所1号機事故の概要および検討課題の抽出、
成合 英樹(筑波大学名誉教授)

13:55~14:40: 非常用復水器(Isolation Condenser、IC)の作動の妥当性、
白鳥 正樹(横浜国立大学名誉教授)

14:40~15:00: 地震による配管破損事故(Loss of Coolant Accident、LOCA)の有無、
澤田 隆(日本原子力学会理事・事務局長)

15:00~15:30: 1号機非常用発電機の停止原因、
松岡 猛(宇都宮大学非常勤講師)

■ **パネルディスカッション** / 福島第一原子力発電所事故で何が起こったのか

15:45~17:00 司会: 矢川元基

パネリスト:

田中 三彦(元国会事故調査委員会委員)

中尾 政之(東京大学、日本機械学会「東日本大震災調査・提言分科会」委員)

淵上 正朗(元政府事故調査委員会技術顧問)

宮田 浩一(東京電力原子力安全・統括部)

宮野 廣(法政大学、日本原子力学会事故調査委員会委員)

■ **まとめと閉会挨拶:** 松岡 猛(福島第一原発事故調査に関する小委員会委員長)

入場無料・事前申し込み不要(定員 300 名)

お問い合わせ先 シンポジウム担当 e-mail: kiyomi.okiyama@cao.go.jp

日本学術会議ホームページ <http://www.scj.go.jp>